

統合報告書2023のポイント

物流は新領域へ。 その想いを社会の力に変えるために。

経営環境の認識

日本国内の少子高齢化を背景とした労働力不足、地政学的リスクの顕在化、気候変動、業界の垣根を超えた競争激化等、さまざまな経営環境の変化に直面しています。

取り組むべき方向性

直面する経営環境の変化に対応すべく、グローバルサプライチェーンの維持・強靱化のため、IoT・AI・ロボティクス・DXによるイノベーションで課題解決を図り、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に取り組んでいきます。

企業価値向上に向け、 取り組むべき重要課題 (マテリアリティ)

注力分野 → P30-36

- 脱炭素・循環型社会への貢献
- 強靱で持続可能な物流サービスの構築・進化
- 協創による新たな価値の創出
(注力分野を支える基盤)

中期経営計画

LOGISTEED2024

→ P23-28

DX・LT・現場力でグローバルなサプライチェーン戦略パートナーへ

重点施策

海外事業の強化・拡大

- M&Aの全地域展開: 北米(輸送)、欧州(3PL・フォワーディング)、インド(輸送)
- 重点エリアへの投資・事業拡大: インド・タイ・インドネシア・マレーシア(自動車、食料品、日用品ほか)、中国(自動化・省人化ほか)

新たな付加価値による 事業領域の拡張

- サプライチェーンの課題解決、DXによる可視化と最適化の提案
- 製造と物流の境界領域における新サービスの拡大、付加価値サービスの展開

スマートロジスティクスの進化

- システムと機械が連動した自動化・省力化、DXによる労働環境の向上
- 三温度帯倉庫や危険物倉庫などの倉庫機能強化・充実化
- SSCV(→P76)の活用による輸送事業強靱化と2024年問題(→P75)・脱炭素化への対応

ESG経営の基盤強化

- 災害対策・リスクマネジメントの遂行
- 高度かつ持続的な安全・品質活動
- 脱炭素活動の加速
- VC活動(→P76)の継続・拡大
- DX・LT・グローバル展開のための人財強化